

宮古盛岡横断道路  三陸沿岸道路
こやまだ
千徳 小山田 道路工事の安全祈願祭を開催
～10月8日(水)10:00より開催～

宮古盛岡横断道路を構成する「宮古箱石道路」、および三陸沿岸道路を構成する「宮古田老道路」は、震災後新規事業化（平成23年11月）された区間であり、復興のリーディングプロジェクトとして1日も早い供用を目指し、地域一体となって事業を進めております。

このたび、宮古箱石道路の国事業区間で初めてとなるトンネル工事「小山田（こやまだ）トンネル工事（延長1,100m）」、並びに宮古田老道路の閉伊川渡河部となる「閉伊川橋下部工事」に本格着手することとなりました。

つきましては、被災地の1日も早い復興と工事の安全を祈念して、安全祈願祭を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

1. 日 時：平成26年10月8日（水）10：00～（約1時間）
2. 場 所：宮古市千徳第14地割29番 …別紙-1 会場案内図を参照
3. 主 催：（施工者）前田建設工業株式会社 東北支店
4. 安全祈願祭の概要
 - ・ 神 事
 - ・ 発注者挨拶（三陸国道事務所長）
 - ・ 来賓祝辞（宮古市長）
 - ・ 宮古市立花輪小学校児童による「花輪^{はなわし}鹿子^{しおと}踊り」の披露
5. 工事概要：別紙-2

《記者発表会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会各社》

問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関すること】

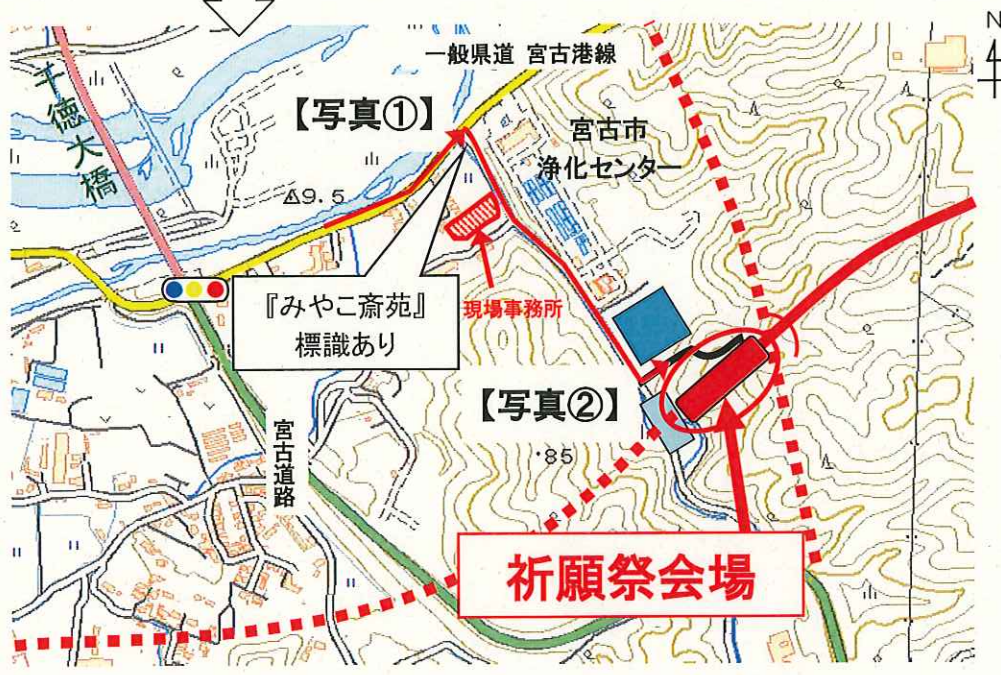
国道45号外千徳小山田道路工事 前田建設工業株式会社 千徳小山田道路作業所
〒027-0058 岩手県宮古市千徳第14地割24番 電話 0193-62-3162
副 所 長 白鳥 知見（しらとり ともみ）

【事業に関すること】

国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所 電話0193-62-1711（代表）
副 所 長 戸嶋 守（としま まもる）
工務第一課長 馬場 裕之（ばば ひろゆき）

三陸国道事務所のホームページ、ならびに復興道路（三陸沿岸道路）、復興支援道路（宮古盛岡横断道路）については、[復興道路・復興支援道路情報サイト](#)で検索できます。

【国道45号外 千徳小山田道路工事 安全祈願祭 会場案内図】



【写真①】 みやこ斎苑入口 (案内標識あり)

【写真②】 安全祈願祭会場 (左折後坂の上)



※安全祈願祭当日は案内看板も設置します

国道45号外 千徳小山田道路工事

三陸沿岸道路・宮古盛岡横断道路



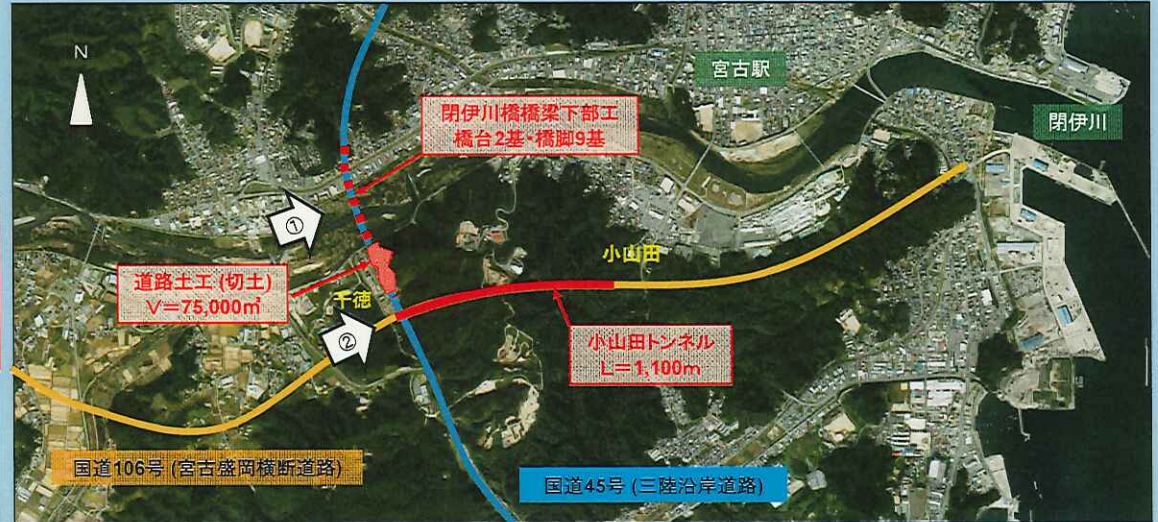
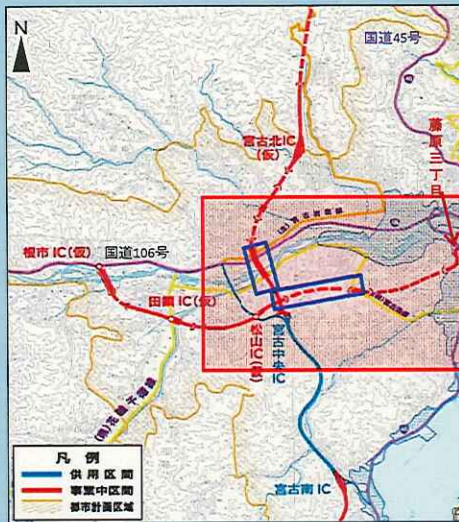
前田建設工業株式会社 千徳小山田道路作業所

【工事概要】

- 工事名 : 国道45号外 千徳小山田道路工事
- 工事場所 : 岩手県宮古市小山田 ~ 宮古市千徳地内
- 発注者 : 国土交通省東北地方整備局
- 施工者 : 前田建設工業株式会社
- 工期 : ① 平成26年3月7日 ~ 平成28年3月30日 … 橋梁下部工 (閉伊川)、道路土工
② 平成26年3月7日 ~ 平成28年3月18日 … トンネル (小山田トンネル)

本工事は、三陸沿岸道路及び宮古盛岡横断道路改築事業の一環として、岩手県宮古市内に橋梁下部工とトンネルを施工する工事です。東日本大震災からの復興に向け、物資輸送の中心を担う幹線道路の整備が急務とされており、当工事においても早期の完成を目指して鋭意努力してまいります。

- 橋梁下部工 : 橋長 502m、橋台 2基、橋脚 9基
- 道路土工 : 延長 200m、掘削土量 75,000^m₃
- トンネル : 延長 1,100m、幅員 12m、内空断面 88^m₂ (仕上り)



① 閉伊川橋完成イメージ



② 小山田トンネル完成イメージ



宮古箱石道路（宮古～箱石）の概要

参考

路線概要

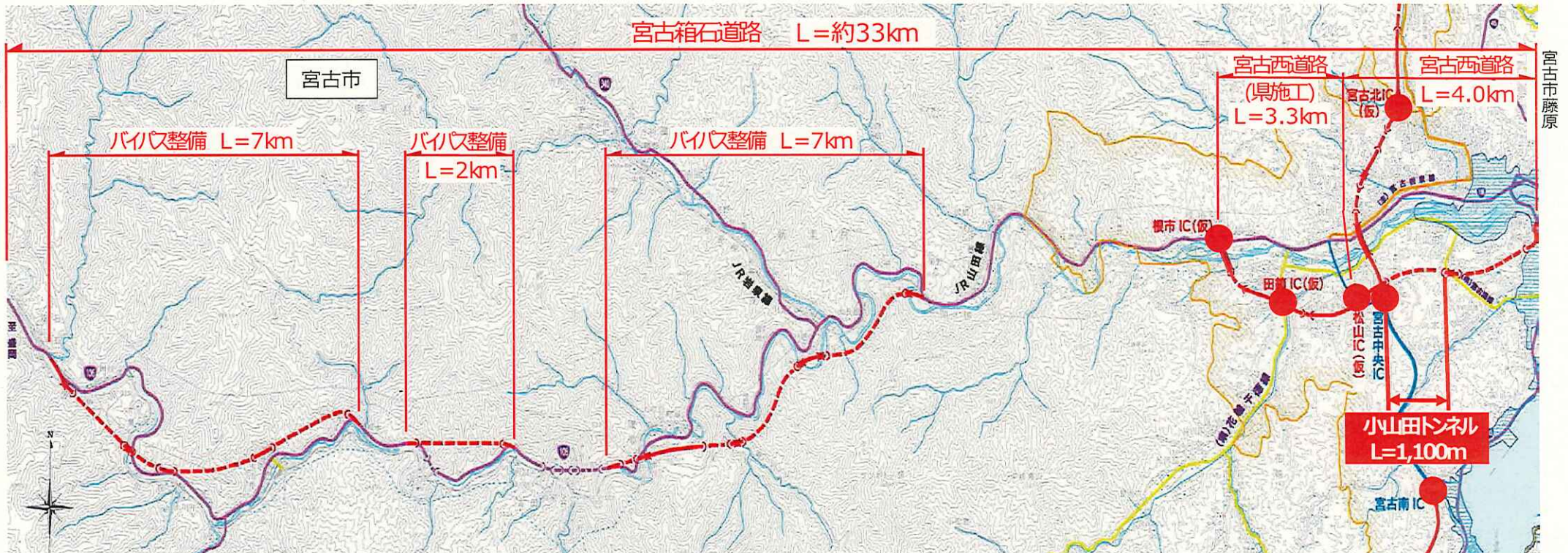
宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

平成26年度は、用地買収等を進め、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を実施予定です。

計画諸元

宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起 点	宮古市藤原
終 点	宮古市箱石
延 長	33km
工 区	(宮古西道路)※国施工分 (茂市旗帯工区、下川井工区、川井箱石工区)
幅 員	2車線 13.5m 2車線 12.0m
構造規格	第1種第3級 第3種第2級
設計速度	80km/h 60km/h



災害時における緊急輸送路の確保

- 東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）

国道106号 救援支援物資輸送612回

3月12日～4月末：県トラック協会契約分



- ⊗ : 震災時の津波による通行止め箇所
- ⊖ : 震災時の津波浸水箇所

▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市愛宕交差点



写真② 宮古市磯鶏地区



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古地域の管外搬送の約95%は、盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
- 宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼ 国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

回数：17回
合計時間：112時間



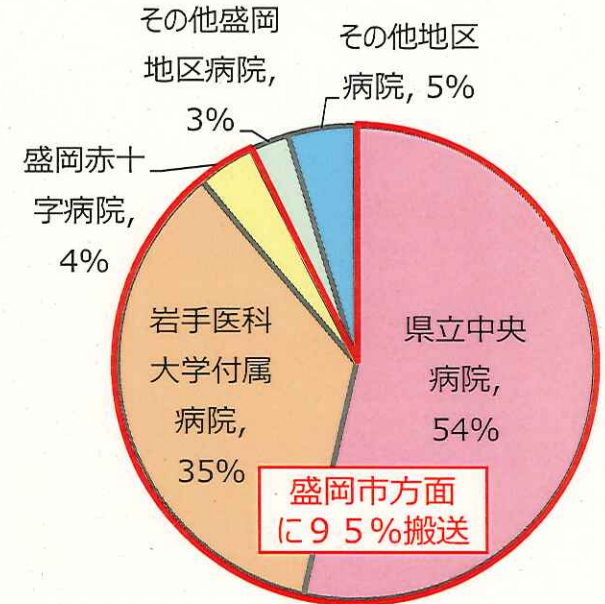
宮古～箱石区間の国道106号

急カーブ箇所
($R < 150m$)
14箇所

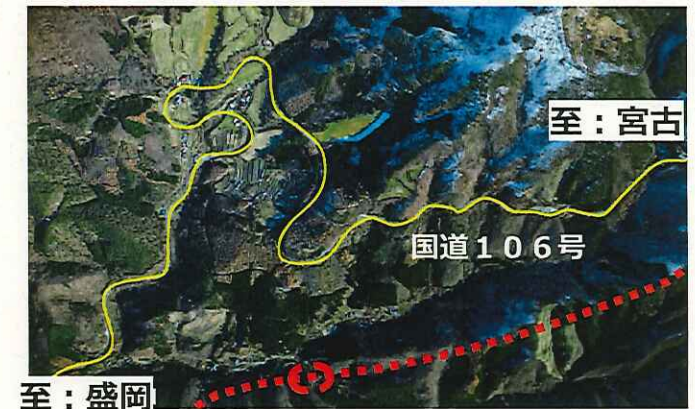
宮古箱石道路

急カーブ箇所
($R < 150m$)
0箇所

▼ 宮古地域の管外搬送状況



▼ 区界地区の急カーブ状況



宮古田老道路（宮古中央～田老）の概要

路線概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路(宮古中央～田老)」は、宮古市松山から宮古市田老を結ぶ約21kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

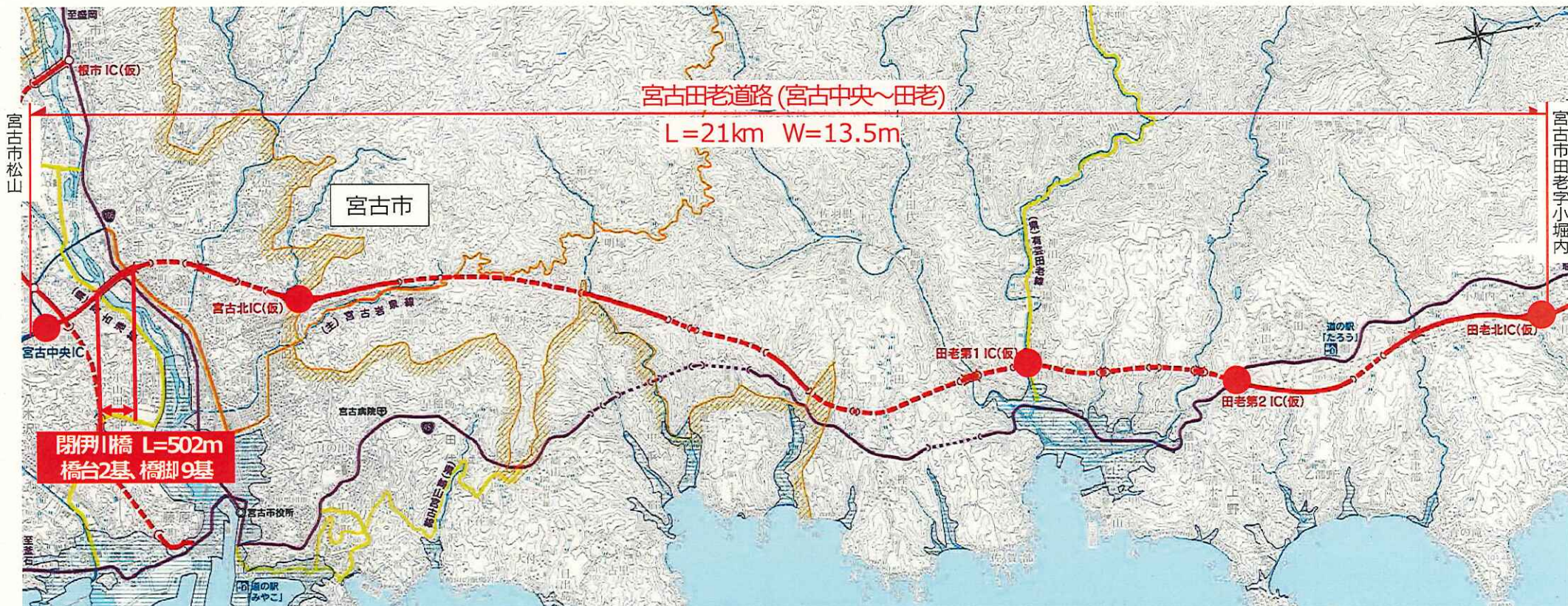
平成26年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施予定です。

計画諸元

宮古田老道路 (宮古中央～田老)	
起 点	宮古市松山
終 点	宮古市田老字小堀内
延 長	21km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



宮古中央IC付近(北側を望む)



津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 宮古田老道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼宮古市～岩泉町間経路



▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市田老地区



写真② 宮古市磯鶏地区



迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 宮古田老道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況

宮古田老道路 L = 21 km



- : 急カーブ箇所 (平面曲線半径150m未満箇所)
- △ : 急勾配箇所 (縦断勾配5%以上区間)

宮古～田老区間の国道45号

急カーブ箇所
(R < 150m)
24箇所



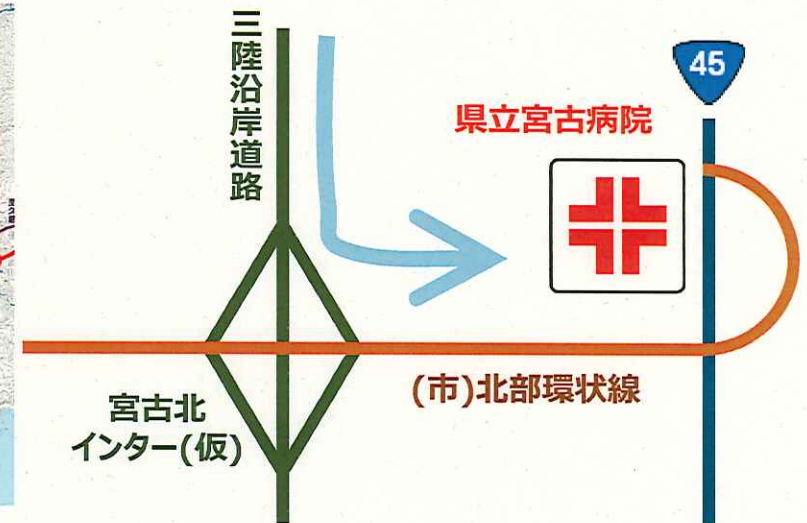
急勾配箇所
(i > 5%)
28箇所



宮古田老道路

急カーブ箇所 (R < 150m)
急勾配箇所 (i > 5%)
0箇所

▼宮古病院へのアクセスルート



岩泉町から県立宮古病院への搬送時間

現在 約50分 ⇒ 将来 約35分

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平（八幡平市）
入込客数186万人/年



遠野盆地（遠野市）
入込客数154万人/年



展勝地（北上市）
入込客数77万人/年

世界遺産 平泉（平泉町）
入込客数208万人/年



中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜
(宮古市)



船越半島大釜崎
(山田町)



碁石海岸
(大船渡市)



三陸ジオパーク

小袖海岸
(久慈市)



北山崎
(田野畑村)



龍泉洞
(岩泉町)

